



平素は奈良市の教育・保育行政にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。令和2年7月3日（金）に富雄保育園で実施した、移管先法人である「社会福祉法人 楽慈会」との合同保護者説明会の概要及び7月6日（月）から7月10日（金）に実施の個別質問会の概要についてまとめましたので配布します。

本説明会だよりでは、当日の説明内容に加えて、保護者の皆様からいただいたご質問に対する回答についてお知らせします。

今後も、節目節目にお知らせの配布等を行い、進捗についてお知らせして参りますので、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

1. 当日の説明内容について

（１）奈良市子ども政策課からの説明概要

- ・令和2年3月の選定委員会にて「社会福祉法人 楽慈会」を移管先法人に決定しました。
- ・現在、園長予定者・主幹保育教諭予定者による引継を実施しており、園運営や日々の保育の進め方などを引継いでいるところです。
- ・今後の取組予定として、令和3年1月からは法人職員と奈良市職員による共同保育を行い、令和3年4月には富雄保育園を公私連携型保育所として移管するとともに富雄第三幼稚園の引継を開始します。令和4年4月には、移管された富雄保育園を新しい園舎で公私連携幼保連携型認定こども園に移行します。そして富雄第三幼稚園を施設統合することで、当該こども園を本地域の中心的な幼保施設としたいと考えています。
- ・これから移管後の園運営や保護者の実費負担等について、今後保護者代表・法人・奈良市からなる三者協議会を開催し、合意形成を図っていきたいと考えていますので、ご協力をお願いします。

（２）楽慈会からの説明概要

- ・この度、市立富雄保育園及び富雄第三幼稚園の移管先法人として選定いただきました、社会福祉法人楽慈会です。公私連携ということで、これから保護者の皆様と色々なことを相談しながら、公立と私立の良いところを併せ持った園運営を行っていきたいと考えています。
- ・移管後の園運営については、市立園が共通の指標としている「奈良市立こども園カリキュラム」に沿った教育・保育を行うことを予定しています。子どもたちの自由な発想から生まれる様々な遊びを通して、役割分担や友達との協力など、色々なことを子ども自ら学んでいく環境を作っていきたいと考えています。

【令和3年度からの園運営内容について（公私連携型保育所・現富雄保育園舎）】

- ・全保育室及びリズム室に、ジアイーノ（次亜塩素酸を利用した空間除菌脱臭機）の導入を考えています。
- ・コットベッド（簡易ベッド）を導入したいと考えています。
- ・給食については園児一人一人に合わせたアレルギー対応メニューを作成し、本法人の自家製パンなど質の高いものを使用します。行事食についてもそれぞれの行事のイメージに合ったものを提供し、楽しく食事ができるように工夫をしていきたいと考えています。
- ・今まで市立園として行ってきた地域との関わりや取組は、今後も継続していききたいと考えています。

【令和4年度からの園運営内容について（公私連携幼保連携型認定こども園・新園舎）】

- ・0～2歳児は個々の生活リズムに合わせた生活を送り、3～5歳児は奈良市の「奈良市立こども園カリキュラム」に沿った子ども主体の遊びを展開し、遊びの中で様々なことを学べる教育・保育を提供したいと考えています。
- ・外部講師による共通経験の他、様々なサービスの導入を検討しています。
- ・設備面については、災害時の避難を考慮した園舎設計を行い、冷暖房完備（床暖房）、監視カメラによるセキュリティ向上、保育ICTシステムによる登降園管理システムなどを導入したいと考えています。
- ・楽慈会としては以上のような園運営を行いたいと考えていますので、今後保護者の皆様との協議を経て、新しい園を作っていきたいと考えております。

2. 説明会及び個別質問でいただいた主な質問

◆園運営・教育保育に関すること

Q 1	5歳児は午睡を行うものでしょうか。
A 1	＜楽慈会より＞ 5歳児は小学校への接続を見据えて午睡をしない場合が多く、体力面からも午睡の必要はないと考えます。市立園でも5歳児については午睡をすることはあまりありませんが、朝早く起きた場合や、疲れている場合など、子どもの体調によっては横になり仮眠をとることなどはあっても良いと考えます。こちらについても今後、子ども達一人一人の様子に合わせることを前提に、保護者の皆様との協議によって決定していきたいと考えています。

Q 2	開園日は4月1日から翌3月31日とありますが、協力日の設定はありますか。
A 2	＜楽慈会より＞ 現在の富雄保育園と同様にさせていただきたいと考えています。 ＜奈良市より＞ 移行の直前には設備の更新や保育環境の整備を行う目的のために協力をお願いする場合があります。なお、どうしても家庭保育ができない場合などについては個別に相談させていただくという取り扱いをした園もあります。

Q 3	富雄保育園では、月に1度アレルギー会議を行っています。移管後にはどのようにしてアレルギー対応を行いますか。
A 3	＜楽慈会より＞ 保護者の皆様との話し合いを行いながら園児一人一人に合わせた個別対応を行います。成長とともに克服できたものについては、その都度話し合いの場を設定し共有をしていきたいと考えています。主に保護者の皆様からの情報を、担任との話し合いを経て園でも共有していきたいと考えていますが、具体的なことについては今後決定していきたいと考えています。

Q 4	閉園時間が変更となる可能性があるのでしょうか。その場合、今よりも遅くまで預かっていただけるのですか。
A 4	＜楽慈会より＞ 開園時間など、園運営に関わることは三者協議会で協議したいと考えていますが、子どもたちの体力などを考慮して今の開園時間を基本としたいと考えています。

Q 5	今の園運営や保育・教育の内容が大きく変わらないか心配です。
A 5	＜楽慈会より＞ 公私連携施設として、移管後も市立園を基本とした園運営を行っていきます。今後、三者協議会で具体的な内容を決定していくこととなりますが、子どもたちにとってより良い環境を構築するために、保護者の皆様のお気持ちやご意見に沿った園運営を心がけていきたいと考えています。

◆職員に関すること

Q 6	民間移管に伴い、今の先生はいなくなってしまうのですか。また、残っていただける先生の見込みはどの程度でしょうか。
A 6	＜奈良市より＞ 正規職員については、原則として他市立園への再配置を予定しています。ただし、非正規職員で楽慈会との協議によって合意いただいた方については、引き続き富雄保育園で勤務をしていただきたいと考えています。これまでお世話になった先生方と園生活を過ごすことで、環境の変化等による園児・保護者の負担を軽減できると考えています。具体的なことはこれから楽慈会と園職員で協議を行ってまいりますが、本市としては可能な限り多くの職員に引き続き勤務いただけるよう努力していきたいと考えています。

Q7	令和4年のこども園移行後から定員が増えるということですが、それに応じた園職員は確保できますか。
A7	＜楽慈会より＞ 富雄保育園の先生に引き続き残っていただけるよう協議を重ねながら、経験・年齢のバランスが取れた職員配置を行えるよう努力していきたいと考えてます。

Q8	民間移管によって運営主体や先生が変わってしまうことで、子どもに負担がかからないか不安です。
A8	＜楽慈会より＞ これまでの富雄保育園の園運営を基本とし、公立園が大切にしてきたことを継承しながら、子どもたちの目線に立ち奈良市立こども園カリキュラムに沿った教育・保育を提供していきたいと考えています。また引継保育の中でも子どもたちと信頼関係を築くことを第一に考え、富雄保育園の先生方にはできるだけ残っていただけるよう努力していきたいと考えています。

◆施設・設備に関すること

Q9	令和3年度から監視カメラによるセキュリティ向上をお願いしたいです。
A9	＜楽慈会より＞ ご期待に沿えるよう検討させていただきます。

Q10	令和4年度からのこども園では、駐車場や自転車置場はありますか。また、自転車置き場に屋根はありますか。
A10	＜楽慈会より＞ 現在は設計段階ですが、十分な駐車スペースを確保することを予定しています。また、屋根付きの自転車置き場についても、しっかりと確保できるよう検討させていただきます。

Q11	次亜塩素酸を利用する空間除菌脱臭機について、新型コロナウイルス感染症への有効性に疑問を感じます。
A11	＜楽慈会より＞ 強酸性水などの電解水なども併用しながら対応していきたいと思います。引き続き専門の方々と連携しながら、情勢の変化をみて対応していきたいと考えています。

◆保護者負担に関すること

Q12	設備・施設が非常に充実しているという印象を受けましたが、これらの設備投資に係る費用は保護者の負担額にどのように反映されますか。
A12	＜楽慈会より＞ 設備・施設の充実又は更新等に係る費用について、保護者に負担を求める予定はありません。

Q13	保育用品を購入する必要はありますか。また、指定業者からしか購入できないなどの制限はありますか。
A13	＜楽慈会より＞ 体操服のように統一感を感じられるようなものを導入したいと考えていますが、三者協議会を経て決定させていただきます。また、仮に導入することになっても一般的なもので、どこでも購入できるようなものにしたいと考えています。

Q14	コットベッドについては、子どもが寝ている間に転落したり、身長に合わず寝にくいということはありませんか。また、シーツは購入する必要がありますか。
A14	＜楽慈会より＞ コットベッドは10年以上前から使用されている一定の実績がある保育用品です。また、シーツはメーカーが安全性を確保するために推奨するものであり、通気性に優れており乳児の突然死を防止するという観点からも皆様にご購入いただきたいと考えています。ただし、令和2年度の4歳児については、小学校への接続を考慮して午睡を行わない可能性があるため、希望制にしたいと考えています。

Q15	公私連携施設になると保育料は上がるのでしょうか。
A15	＜奈良市より＞ 保育料については条例等に基づき奈良市が決定していますので、民間移管によって高くなることはありません。また、新たな保護者負担の導入については、三者協議会により保護者の皆様との合意形成を図ります。

◆民間移管の計画に関すること

Q16	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための新しい生活様式を取り入れながら、当初の予定どおり民間移管の取組を進めることは可能ですか。
A16	＜奈良市より＞ 6月から通常の保育が開始されることに伴い、感染症対策に最大限の注意を払いつつ引継を行っているところです。引継に参加している園長予定者及び主幹保育教諭予定者は市立園長や指導主事としての経験を有する元奈良市職員であり、市立園の園運営に精通していること、また、令和3年1月からは、園児の状況の引継ぎや園児・保護者の皆様との信頼関係を築くための共同保育を行うことが可能ということ等を踏まえて、現時点では当初計画通り富雄保育園を令和3年4月から民間移管することが可能であると考えています。

Q17	今年の4歳児は、どの園舎で過ごすのでしょうか。
A17	＜奈良市より＞ 令和3年度は移管先法人である楽慈会が運営する公私連携型保育所の園児として、現在の富雄保育園舎で過ごしていただくことになります。なお、令和2年度の3歳児以下については、令和4年度には新たに建設した園舎で、公私連携幼保連携型認定こども園の園児として過ごしていただきます。

〔お問合せ〕

〔担当課〕 奈良市 子ども政策課 （市役所中央棟3階）
（担当） 山本 ・ 西尾

〔TEL〕 0742-34-4792 〔FAX〕 0742-34-4798

〔MAIL〕 kodomoseisaku@city.nara.lg.jp

〔市立幼保施設の再編に関する市のホームページ〕

<http://www.city.nara.lg.jp/www/genre/00000000000000/1366066836305/index.html>

〔法人担当〕 社会福祉法人楽慈会（幼保連携型認定こども園藍咲学園）

（担当） 松本 ・ 荒木 〔TEL〕 0774-73-8300

